

平成31年第3回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	平成31年3月20日（水曜日） 午後1時46分から4時12分まで
会議開催の場所	市役所503会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・井上三枝・新堀陽子
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 吉野靖彦・教育部参事 島津芳久・教育総務課長 鈴木雅広・学校教育課長 野村弘人・学校教育課副参事 松崎努・生涯学習課長 駒井実
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 菊地誠治
傍聴者数	0人
会議資料の名称	会議次第・教育長報告・報告第1号・議案第12号から第18号・配布資料一覧

議題及び決定事項等

日高市教育委員会教育長職務代理者の指名について（山川委員を指名）

報告第1号 学校運営協議会委員に関する基準について

原案どおり承認

議案第12号 平成31年度日高市教育行政重点施策の決定について

一部修正可決

議案第13号 日高市立中学校の部活動方針について

原案どおり可決

議案第14号 学校医の任免について

原案どおり可決

議案第15号 日高市社会教育委員の委嘱について

原案どおり可決

議案第16号 日高市社会教育指導員の委嘱について

原案どおり可決

議案第17号 日高市文化財保護審議委員会委員の委嘱について

原案どおり可決

議案第18号 日高市教育委員会職員の人事について

原案どおり可決

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

○校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 議会の一般質問答弁について、教職員の勤務で1日当たりの授業持ち時間数はコマ数で答弁しているのか。

(教育部参事) コマ数で小学校が 23.9 コマ/週とした。小学校については、結局、1週間の中で学級事務を行う時間が、授業時間の中で出来るのは4時間くらいしかない。5日間学校へ行く中で、4コマ程度しか学級事務を行う時間が取れないので、1日は学級事務が出来ない日が出てくる状況である。中学校は 18.4 コマ/週となる。

(委員) 中学校の方が小学校よりコマ数が少ないということは、余裕があるということか。それとも部活動があるからそれほど差がないのか。

(教育部参事) 放課後は部活動があるので、空いている時間で学級事務を行っている状況である。

(委員) このような状況を見た場合、小学校と中学校の教員では、どちらがストレスがないとみるのか。

(教育部参事) ストレスの質が違うと感じる。中学校は、保護者との関係性というよりは、生徒指導に係る部分が大きいと感じる。

(委員) 働き方改革に係る質問と思われるが、持ち時間削減のための方策については、どのように答弁したのか。

(教育部参事) 授業時間数、教職員数について決められたものであるので、市として出来ることは、小中一貫教育などが進んだ段階で、教員の相互協力により時間数の平準化ができるのではないかとしたこととした。中学校の教員については、教科によっては時間数が少ない教員もいる。時間に余裕がある教員に小学校で教えることにより平準化を図ることが可能ではないかということである。

(委員) 通級指導教室について、確認の意味で、どのような教室のことか。

(教育部参事) 特別支援教育の一つの形態であるが、以前は通常学級と障がいを持っている場合に特別支援学級ということで、別の教育課程を組んで、別の教室で授業をするというのが主であったが、発達障がいの子について、程度に幅があるので、通常学級に籍を置きながら週2時間が基本であるが、取り出し教育を実施して個別に指導することで、集団生活が苦手な子でも安心できる環境で対人関係のトレーニングなどを行い、それ以外は通常学級で生活することである。籍は通常学級のまま、通いながら特別支援教育を受けるということで通級指導教室とさ

れている。

(委員) そうなると、現状で大きな問題があるから質問があったわけではないのか。

(教育部参事) 以前は、入級を待っていただいた時期もあったので、現状はどうであるかという主旨と思われる。また、今は2年そこに通うと、発達障がい専門医なども取り出し教育による効果が上がらなければ、特別支援学級に移るなど別の対策の方が効率的ではないかという意見もいただいている。2年を目途に判断する中で、保護者の意見により3、4年引き続きお願いしたいという意見もあるので、現状と課題ということでこの質問をいただいたのではないかと。

(委員) 参考資料として委員に配付された学校自己評価システムについて、達成度のB評価が減ったことは良いが、達成度Aとする学校が増えた中で、組織運営の充実という項目で達成度Bとしている学校がある。組織運営については、本来、達成度Aでなければいけない部分ではないか。最終判断は校長なり執行部であるが、各学校で頑張っているなら達成度がAでなければおかしい。学校、組織運営が基本であるので、この部分はAでなければいけないという気概を持ってほしい。Bと評価している学校については検証してほしい。

(教育長) 職員と保護者のアンケートの結果が職務に反映されている。中には自校を厳しく評価するところもあるが、委員ご指摘のとおりと考える。

(委員) 今年度、教職員の当初人事について、小中一貫教育を見据えた課題などはあったか。

(学校教育課長) 他市とのやり取りの中で、こちらの思惑と先方の思惑が違ったためにうまくいかなかった部分、教員について子育てなどの生活状況の背景を考慮して意向を出しても、なかなかこちらの意向に沿う方がいなかったりした状況であった。小中一貫教育の部分では、小学校と中学校の教員免許を合わせて有している方が望ましいところであるが、希望する教員が配置されない部分もあった。

(教育部参事) 新採用教員があまり配置されなかった。県全体で採用が減っているのでやむを得ないところではある。

(委員) 中学校の保護者会で、小中一貫教育について校長から説明があった中で、質問があったら学校を通して教育委員会へ伝えるということであったが、何か意見はあったのか。

(教育部参事) 現時点では質問や意見は来ていない。今のところ概要の説明であるので、まだ保護者の方も内容を把握していただく段階であり、まだご意見が出るまでには至っていない可能性がある。今後、具体的な説明をしていく中で、保護者や地域の皆様にご意見を伺っていく。

【教育長報告：資料1 関連】

(委員) 学力向上について、「明日に向けて役立つ教育指導技術」の座談会を行い、具体的な技術指導の紹介とあるが、例えばどのような内容であるか。

(教育長) 高麗川中で実施しているグループでの話し合いなどによって、対話がしやすくなることや特別活動関係で子どもたちの話題をどのように取り上げるなどの技術的な部分の紹介であった。

(委員) 技術の内容が気になった理由として、中学生に台形の面積の求め方を聞いたときに、公式は知っていても、どうしてその公式で求められるかの考え方については説明できなかったことがある。最近の入学試験などの傾向を見ると、単純に公式を当てはめれば解けるという問題ではなく、本質的な理解を求めている問題が増えているので、時間内に解ける子は少なくなっているのではないか。

(教育部参事) 選抜試験であり、達成度を見る試験ではないので、ある程度差をつける部分での出題傾向となっている。

(教育長) 技術だけ教えると、公式を当てはめるだけの考え方に陥りやすいが、根本的な部分の理解を促すための指導をどれだけ出来るかというスキルも教員に求められている。公式に至るまでの考え方を理解してもらうことが重要である。教員にも学びへの意欲の向上を促していく。

(委員) 外部の方々の意見として、いじめ問題専門委員会での意見はどのようなものがあったのか。

(教育部参事) いじめの内容によって件数などをまとめて、委員会で検討していたが、将来、重篤なものにつながる内容と軽微な内容について、内容の軽重をしっかりと分析していかないと指導方法に誤りが生じてくるのではないかという意見があった。単純に統計を取るのも良いが、もっと先を見据えた統計の取り方をやってほしいということであったので、取り組む方向で検討しているところである。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

日高市教育委員会教育長職務代理者の指名について

【質疑なし】

報告第1号について

【質疑なし】

議案第12号について

(委員) 「1 小・中学校9年間を一貫した教育の推進」の中で、小中一貫教育コーディネーターとあるが、どのような方が該当するのか。

(学校教育課長) 平成32年度に向けて教育課程を来年度検討していくが、学校の要となる教務主任、主幹教諭を小中一貫教育コーディネーターとして、校務分掌に位置付けて講習会をしてもらう。

(委員) 実施する内容と意味合いが名称からは伺えない。新しいプロジェクトなので、もう少し使命感、誇りを持てるような名称や対外的にアピールできるような名称にしたほうが良いのではないか。

(教育部参事) 名称については、検討したい。

(委員) 学校給食センターについて、整備計画を策定するということが、重要なことであると考えているが、まだ整備方針が決まっていないとは思いますが、実施の段階で整備費用が出せるのか。

(教育部長) 民間資本の活用(PFI)などを検討しているところであり、さまざまな角度から検討しているところである。

(委員2) 放課後子ども教室の推進について、2年目になってスタッフなど順調に続いているのか。

(生涯学習課長) 放課後子ども教室について、先着順のため受けた方が受けられないといった意見をいただき、それを改善するなど今年度は積極的に進めていきたい。

(委員2) 教室が火曜日など曜日の固定があるので、違う曜日なら協力できるのに協力できない方もいるのではないか。

(生涯学習課長) 拡大できる部分があれば検討していきたい。

(委員2) 夏休みなどに開催してもらえるとありがたい。

(生涯学習課長) 夏休み期間中は別事業として、ひ・まわり探検隊事業を受け皿としているのでご理解いただきたい。

◎一部修正可決

1 小・中学校9年間を一貫した教育の推進に係る本文中の、『各小中学校の「小中一貫教育コーディネーター」を中心に』の箇所を削除する。

議案第13号について

【質疑なし】

議案第14号から18号について

【非公開のため記載せず】

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○4月定例会：4月24日(水曜日)午後1時40分から 委員了承

○5月定例会：5月17日(金曜日)午後1時40分から 委員了承

(2) その他連絡事項

○新採用・転入教職員着任式・歓迎会

4月1日(月曜日)午後2時から【生涯学習センター】

○平成31年度小中学校入学式

4月8日(月曜日)午前【各小・中学校】

○平成31年度入間地区教育委員会連合会総会

4月22日(月曜日)午後【坂戸市】